

2024年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
2025年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講座	言語情報論
専門科目1	言語学

【解答はすべて解答用紙に記入すること】

- I) 日本語の[s]と[ɕ]（ただし、拗音は除く）、英語の[s]と[ʃ]は、それぞれ異なる音素か、あるいは、同一の音素の異音か。日本語と英語の場合に分け、根拠を挙げて述べなさい。
- II) 次の言語データから分かることを述べなさい。また、nəmkurugu “length” である場合、“long” に対応する形を書きなさい。

karite “excellent” nəmkarite “excellence”
kura “big” nəmkura “bigness”
gana “small” nəmgana “smallness”
dibi “bad” nəmdibi “badness”

III) 日本語の能動文と受動文の容認可能性について、次の言語データから考えられることを述べなさい（文脈は中立的なものとする。文頭の記号は文が不自然であることを示す。）

- 子どもが水をのんだ。
- ?水が子どもにのまれた。
- ?波が子どもをのんだ。
- 子どもが波にのまれた。
- 津波が三陸地方を襲った。
- 三陸地方が津波に襲われた。

IV) 次の用語の中から4つを選び、具体例を挙げながら説明しなさい。

自由変異 (free variation)、右側主要部の規則 (righthand head rule)、デッド・メタファー (dead metaphor)、音節文字 (syllabary)、結束性 (cohesion)、下位語 (hyponym)

以上